

<2023年度>

第2回理事会議案書

2023年 6月 16日

一般社団法人 全国鐵構工業協會

2023年度
第2回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 鉄鋼会館 802号室

日 時： 2023年6月16日(金)
11:30~13:45

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告(定款第36条)

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 審議事項

- 第1号議案 第56回通常総会 議案書確認の件 ----- [理 23-2-議 1]
(総会議案書)
- 第2号議案 共済事業10年表彰の件 ----- [理 23-2-議 2] (p3)
- 第3号議案 旅費規程改定の件 ----- [理 23-2-議 3] (p4)
- 第4号議案 賛助会員新規入会の件 ----- [理 23-2-議 4] (p5-)

6. 報告事項

- (1) 本日のスケジュール及び総会等の運営要領確認の件 ----- [理 23-2-報 1] (p8-)
- (2) 委員会等活動状況報告
- ① 人材育成委員会 ----- [理 23-2-報 2①] (p12-)
- ② 50周年記念事業準備委員会 ----- [理 23-2-報 2②] (p15)
- ③ 運営委員会 ----- [理 23-2-報 2③] (p16)
- (3) 特定技能外国人材対応について ----- [理 23-2-報 3] (p17)
- (4) その他

7. その他の定例報告事項

- (1) 構成員登録状況 ----- [理 23-2-他 1] (p19-)
- (2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 23-2-他 2] (p24-)
- (3) 2023年度主要会議日程 ----- [理 23-2-他 3] (p25-)
- (4) 支部報告 ----- [理 23-2-他 4] (p26-)

8. 閉会の辞

以上

第1号議案 第56回通常総会 議案書確認の件

本日15:00開催予定の第56回通常総会の議案について、別冊の議案書をご確認いただきたい。

第2号議案 共済事業10年表彰実施の件

共済事業10年表彰実施について、承認の決議をいただきたい。

第3号議案 旅費規程改定の件

旅費規程を、別紙（議案書<p4>）のとおり改定することについて、ご審議のうえ承認いただきたい。

第4号議案 賛助会員の新規入会承認の件

日鉄溶接工業(株)より、賛助会員として入会希望がありましたので、定款第6条第1項に基づき入会を承認いただきたい。

以 上

【理23-2-議2】 第2号議案

共済事業表彰について

○全構協共済事業 10 年表彰の実施について

1. 表彰の趣旨・目的、対象について

1) 趣旨・目的: 共済事業について、今後の事業の安定化に向けて、
正会員(47 都道府県)を対象に直近 10 年の活動内容を評価し、
感謝状を贈呈

2) 感謝状対象: 下記基準に基づき、上位 10 都道府県に感謝状を贈呈

(参考)※10 年前(2013 年)も同趣旨で、上位 10 都道府県に感謝状を贈呈

2. 表彰(評価)基準について ※基本、10 年前の評価算定基準を踏襲

1) 実績評価 : 共済 3 事業(生命共済、指定塗料、鋸刃)の直近 10 年間の各県
累計実績を使用して評価

2) 規模補正 : 各都道府県の事業規模に差があることから、
上記各実績値に対して、会費負担率を使用して補正処理を実施
⇒単純な事業規模の順位ではなく、
出来るだけ各県の「貢献度」を反映する目的で、補正を実施

<参考:規模補正手順>

- ① 組合規模の指標となる会費負担率を算出
- ② 3 つの事業の実績を会費負担率で補正
- ③ 各補正後数値で順位を出し、3 事業合計での総合順位を決める

【 現行規程 】

別表

日当及び宿泊料支給単価表

当等	職務区分	支給単価(円)		
		日	当	計
	非常勤役員、委員	10,000	12,000	22,000
	常勤役員	4,000	12,000	16,000
	課長職以上	3,500	10,000	13,500
	一般職員	3,000	9,000	12,000

【 規程見直し案 】

・見直し案①：職務区分＜新区分追加＞

日当及び宿泊料支給単価表

当等	職務区分	支給単価(円)		
		日	当	計
	全構協役員(理事、監事)	10,000	18,000	28,000
	委員、(外部委員)、WGメンバー	10,000	12,000	22,000
	常勤役員	4,000	12,000	16,000
	課長職以上	3,500	10,000	13,500
	一般職員	3,000	9,000	12,000

(注)

- 委員の片道50km未満の出張は、交通費として一律3,000円を支給する。
- 日当については、列車等の出発及び到着時間により支給する。

(1) 出発

午前(始発～正午)の場合----- 1日当
 午後(正午以降)の場合----- 半日当

(2) 到着

午前(正午まで)の場合----- 半日当
 午後(正午以降)の場合----- 1日当

・見直し案②：会議開催地区分＜追加＞

日当及び宿泊料支給単価表

当等	職務区分	支給単価(円)		
		日	当	計
	非常勤役員、委員	10,000	18,000	28,000
	東京、大阪地区開催*	10,000	12,000	22,000
	その他の地区開催	4,000	12,000	16,000
	課長職以上	3,500	10,000	13,500
	一般職員	3,000	9,000	12,000

* 東京都又は大阪府で開催される会議等への出席(宿泊)対応時に適用

【附則】 この規程は、2023年6月16日より施行する。


【理23-2-議4】 第4号議案

賛助会員 入会申込書

令和5年6月2日

一般社団法人全国鐵構工業協会
会長 永井毅 殿

所在地 〒135-0016
東京都江東区東陽 2-4-2 新宮ビル

会社名 日鉄溶接工業株式会社 

代表者
役職・氏名 代表取締役社長 妙中 隆之

電話番号 03-6388-9000

今般、下記事項記載の上、一般社団法人全国鐵構工業協会の賛助会員として入会を申し込みます。

記

1. 資本金額 21億円

2. 生産又は
主要取扱品目 溶接材料、溶接機器の製造・販売

3. 主要取引銀行 みずほ銀行

4. 連絡窓口

担当部署・局名 営業本部 営業企画総括グループ

担当者役職 主幹

担当者氏名 松本 満

住 所 東京都江東区東陽 2-4-2 新宮ビル

電話番号 03-6388-9065

F A X 番号 03-6388-9088

E-Mail アドレス matsumoto.b4.mitsuru@weld.nipponsteel.com

以上

会社概要

日鉄溶接工業株式会社は、日本製鉄株式会社の溶接部門を担当する会社です。これからもお客様との対話を大切に、品質・機能に優れた溶接材料をはじめ、溶接施工、機器などを含めた溶接トータルソリューションをご提供し、お客様の多様なニーズにお応えしてまいります。

【設立】 平成14年7月1日

【本社所在地】 〒135-0016 東京都江東区東陽二丁目4番2号 新宮ビル2階
【TEL】 03-6388-9000 【FAX】 03-6388-9160
〈URL〉 <https://www.weld.nipponsteel.com>

【資本金】 21億円

【株主】 日本製鉄株式会社 100%

【事業内容】 ◎溶接材料の製造・販売 ◎プラズマ溶接機器の設計・製造・販売
◎溶接機器の設計・製造・販売 ◎金属管入り光ファイバケーブルの製造・販売と
◎溶接技術のコンサルティング センシングエンジニアリング

【役員】	代表取締役社長	妙中 隆之	監査役	吉田 譲
	常務取締役	栗原 繁	社外監査役	中田 康浩
	常務取締役	中川 雅博	参与	足達 智彦
	社外取締役	満生 総一郎	参与	児嶋 一浩
	執行役員	野瀬 哲郎	参与	竹島 裕親
	執行役員	東川 美樹	参与	及川 光紀
	執行役員	田村 章		
	執行役員	芳野 直		

【従業員】 517名(2022年4月1日現在)

【関係会社】 NIPPON STEEL WELDING(THAILAND)CO.,LTD.(略称: NSWT)

【主要株主】 日鉄溶接工業株式会社 64%
【事業内容】 溶接ソリッドワイヤの製造・販売
Eastern Seaboard Industrial Estate Soi 3 Zone A
300/41 T. Tasit A. Pluakdaeng Rayong 21140 Thailand
【TEL】+66-38-656-212 【FAX】+66-38-656-233

報 告 事 項

第56回通常総会当日のスケジュール

<2023年 6月 16日 (金) >

(1) 第4回 三役会	9:30 ~ 11:15	1号会議室
(2) 第2回 理事会	11:30 ~ 13:45 (食事)	鉄鋼会館 [802号室]
(3) ㈱全国鉄骨評価機構 株主総会	14:00 ~ 14:45	〃 [801号室]
(4) 第56回 通常総会	15:00 ~ 16:30	〃 [801号室]
(5) 表彰式	16:30 ~ 16:45	〃 [801号室]
(6) 懇親会	17:00 ~ 18:30	〃 [900号室]

以上

第56回通常総会(2023年6月16日)出欠集計表

2023年6月8日現在

	三役会		理事会		総会(表彰式)			懇親会		
	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席	未回答	出席	欠席	未回答
三	4	0	4	0	4	0	0	4	0	0
支	—	—	9	0	9	0	0	9	0	0
監	—	—	2	0	2	0	0	2	0	0
正	—	—	—	—	34	2	0	34	2	0
記	—	—	—	—	5	0	3	5	0	3
正	—	—	—	—	9	38	0	10	37	0
表	—	—	—	—	4	36	0	4	36	0
経	—	—	—	—	—	—	—	3	0	2
費	—	—	—	—	—	—	—	63	3	3
ク	—	—	—	—	—	—	—	2	3	0
青	—	—	—	—	—	—	—	3	0	0
全	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事	1	0	6	0	9	0	0	14	0	0
計	5	0	21	0	76	76	3	153	81	8

受講者募集・開催実務等へのご協力をお願い

～～『次世代経営研修』2023年10月以降、各支部単位で開催～～

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から当協会への諸活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

早速ですが、全構協では我々の業界の底上げをはかるための人材育成のため、『次世代経営研修』を各支部単位、各地で本年10月以降、順次実施致します。(先般、会場確保を頂き誠に有り難うございます)

本件は、本日の総会にて予算承認を頂いた上で受講者募集を行うこととしており、また開催準備についても本格的に開始したいと考え、各支部事務局様に、開催実務へのご協力をお願いをさせて頂きます。

ご多用中かとは思いますが、何卒、宜しくお願い申し上げます。

敬具

1. ご依頼内容等

(1) 受講者募集

- 各支部単位で募集を行って下さい。(30名程度での研修を前提にしています)
⇒ 後日お送りする書式に受講者を記入の上、全構協総務部に提出願います。
提出期限は、研修実施日の2週間前とします。(席次を当方で割り当てるため)
- 募集にあたっては、受講者募集(ご案内)を活用頂きたく、宜しくお願い申し上げます。
- 受講者の応募が30名程度から大きく外れる場合には、事前に全構協事務局に連絡下さい。
尚、受講者数に余裕がある場合、他支部からの受け入れをお願いする場合があります。

(2) 研修の補佐を頂ける方の選定(各支部2名程度)

- 研修ではグループディスカッションを行います。(5名×6班編成程度)
その際に補佐を頂ける方が必要となりますので、各支部にて2名程度、選定願います。
⇒ 特に事前準備等は不要です。自らのご経験に基づいたアドバイスをお願い致します。
- 補佐を頂ける方についても、全構協に研修実施日の2週間前までにお知らせ下さい。
書式は後日お送り致します。

(3) 研修開催実務等

- 研修当日、全構協からの派遣は講師1名のみです。(原則、事務局員は随行しません)
つきましては、研修開催実務については、各支部事務局様にて対応をお願い致します。
⇒ 当日受付(出欠確認)、会場設営、弁当、懇親会運営、事後アンケート、その他
- 詳細については、追って連絡を差し上げます。

- (4) 研修の補佐を頂ける方・各支部事務局様の、交通費(宿泊費)・日当は全構協にて算定します。
懇親会については補佐を頂ける方は参加願います。事務局様については任意参加(歓迎)です。
弁当については、研修の補佐を頂ける方・各支部事務局様・全構協講師の分も準備願います。

2. 開催経費等について

受講者の交通費・宿泊費『以外』の費用については全構協にて負担致します。

下記をPDFで総務部(大原)にメール送信下さい。(解像度200dpi以上、グレースケール 又は カラー)

- ホテル等からの請求書等については、宛名を『一般社団法人全国鐵構工業協会』として下さい。
⇒ 全構協からホテル等に直接に支払います。
- 既に支部様から支出した経費(先払い手付金等)は、支払先が支部様に発行した領収書と共に、支部様から全構協に請求書を発行して下さい。(全構協から支部様にお支払い致します)

- 3. ご不明点等がございましたら全構協事務局(大原)に一報を頂きたく、宜しくお願い致します。 以上

『次世代経営研修』 受講者募集

【ご案内】

～～ 2023年10月以降、全国各支部単位で順次開催 ～～

2023年6月16日
全構協 人材育成委員会

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から当協会のご活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

早速ですが、全構協では我々の業界の底上げをはかるための人材育成を目的として人材育成委員会を設置し検討を進めて参り、その結果、本年10月以降『次世代経営研修』を実施するに至りました。

ついては下記を参照の上、受講対象者の方から多数の応募を頂きたく、ご案内申し上げます。 敬具

1. 研修概略 **まずは、別紙をご覧ください。**

別紙1 QRコードを読み込めば大竹人材育成委員長メッセージがご覧になれます。

別紙2 研修カリキュラム(概略)をご覧ください。(本日の理事会用資料は割愛)

- ・ 研修構成 (1) 『人と組織のマネジメント』
(2部構成) 従業員を『自ら考え行動する様に育てる』にはどうしたらよいかを考える。
(2) 『トップマネジメント』
会社を永続させる為に必要な『業務運営の基本方針や仕組み』を作るにあたり、経営層として何を為すべきなのかを考える。
※ 講師陣：全構協 小貫専務理事、各支部チューター(アドバイザー)
- ・ 受講対象者 現在、または次世代のファブの経営層の方。
(中小規模のファブに即した内容が中心ですが、大規模の方にも受講頂けます)
- ・ 1回30名程度(グループディスカッション等、研修プログラム上の制約)
- ・ 交通費・宿泊費等を除き、費用は全構協負担

2. 開催日程

支部名	日程(自)	日程(至)	会場	会場所在地
関東	10/03(火)	10/04(水)	アワーズイン阪急	東京都品川区
中国	10/11(水)	10/12(木)	岡山プラザホテル	岡山県岡山市
東北	10/19(木)	10/20(金)	ホテルJALシティ仙台	宮城県仙台市
北海道	11/09(木)	11/10(金)	センチュリーロイヤルホテル	北海道札幌市
中部	11/28(火)	11/29(水)	ウインクあいち	愛知県名古屋市
北陸	12/05(火)	12/06(水)	ホテル金沢	石川県金沢市
九州	12/13(水)	12/14(木)	福岡商工会議所	福岡県福岡市
四国	02/23(金)	02/24(土)	ホテルアネシス瀬戸大橋	香川県綾歌郡
近畿	日程検討中	日程検討中		

3. タイムテーブル(概略)

※連続2日間 合計11時間コース(初日4時間、2日目7時間)

初日	12:00	集合	2日目	08:30	集合
	12:00 ~ 13:00	昼食・事務連絡		08:30 ~ 12:00	研修
	13:00 ~ 17:00	研修		12:00 ~ 13:00	昼食
	17:30 ~ 19:30頃	懇親会		13:00 ~ 16:30	研修
				16:30	解散

4. 応募要領 (各支部様にてアレンジ・追記をお願い致します)

●月●日(●)までに、●●支部(担当●●)に、応募の連絡をお願い致します。

※研修開始の2週間前までに全構協に受講者名簿を提出するので、ご協力をお願い致します。

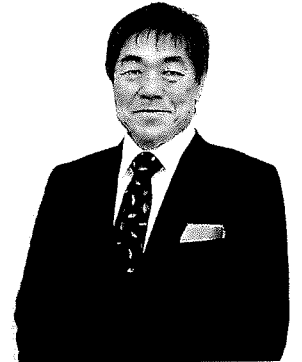
以上



【次世代経営研修】

～～ 2023年10月 開講予定 ～～

私たちファブ業界の実状に即した研修を、一から作ってみました。
工場調査などを行い、経営層のみなさまの悩みに耳を傾け、組み立てた研修です。
是非、時間を作って参加してみてください。



会長 永井毅

今より少ない業務指示で**従業員が自ら考えて動く**ようになれば……
社業を少しでも改善し効率化したいと思っているが、**手始めは何から……**
こんな『思い』を抱いている方には、随分と参考になる研修かと思います。

研修構成 (1)『人と組織のマネジメント』

(2部構成) 従業員を『自ら考え行動する様に育てる』にはどうしたらよいかを考える。

(2)『トップマネジメント』

会社を永續させる為に必要な『業務運営の基本方針や仕組み』を作るにあたり、経営層として何を為すべきなのかを考える。



人材育成委員長 大竹良明

受講対象者 ファブの現在、または次世代の経営層の方

(中小規模のファブに即した内容が中心ですが、大規模の方にも受講頂けます)

開講要領 各支部単位で現地開催 (全国9支部にて計9回を予定)

※ 隣接支部での受講も可能とする等、実状に応じ柔軟に運用
連続2日間 合計11時間コース ※初日集合12:00

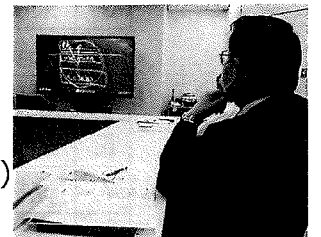
初日 13:00～17:00 (12:00～13:00昼食、17:30～懇親会)

2日目 08:30～16:30 (12:00～13:00昼食) ※16:30 解散

1回30名程度 (グループディスカッション等、研修プログラム上の制約)

交通費・宿泊費等を除き、費用は全構協負担

受講希望があれば是非、各支部への応募をお願い致します。(開催日程・場所は『ご案内』参照)

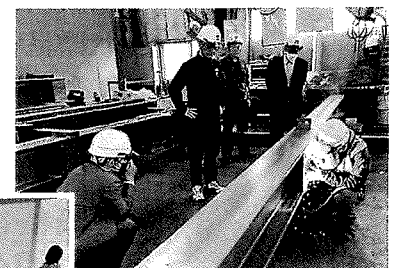
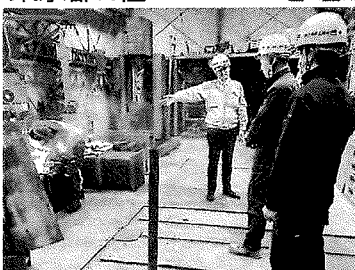


研修内容検討

【工場調査】

岐阜県N社

東京都N社



愛知県S社

宮崎県K社

創立 50 周年記念事業準備委員会

1. 開催日時

第 12 回 2023 年 5 月 29 日(Web 会議)

2. 確認事項

➤ 記念式典・祝賀会

1) 日時／会場：2023 年 7 月 12 日(水) 品川プリンスホテル

※形式：式典／出席者全員テーブル付き着席、祝賀会／立食

2) 記念式典(14:00-15:00)

1.	開会の辞	
2.	来賓紹介	来賓／国土交通大臣・経産省・国交省
3.	役員紹介	三役(席／三役:ステージ、理事:正会員席)
4.	会長挨拶	
5.	来賓祝辞	国土交通大臣祝辞
6.	感謝状贈呈①	学識経験者(34 名) 代表で 1 名に贈呈※
7.	感謝状贈呈②	組合貢献者(47 名) 代表で 1 名に贈呈※
8.	閉会の辞	

3) 祝賀会(15:30-17:00)

1.	開会の辞	
2.	会長挨拶	
3.	来賓祝辞①	議員祝辞(議員／祝賀会のみ出席)
4.	来賓祝辞②	議員祝辞(議員／祝賀会のみ出席)
5.	主務省来賓紹介	
6.	鏡開き	
7.	乾杯	
8.	歓談	約 50 分
9.	閉会の辞	

4) 案内先

賛助会員、行政・議員、関連団体、記者会、全構協 OB

感謝状贈呈者(学識経験者／34 名)、各県正会員(2 名＋感謝状贈呈者)

[式典／300 人・祝賀会／370 人]

5) 感謝状贈呈

学識経験者・組合貢献者／各 1 名、ステージ上で感謝状と記念品を贈呈

(上記の方以外は氏名を読み上げるのみ、感謝状・記念品は後日発送で対応する)

感謝状贈呈者は席前列で指定席、正会員は席後列で自由席

【理23-2-報2③】

運営委員会

1. 開催日時

第3回 2023年6月9日(Web会議)

2. 検討事項

➤働き方改革対応について

【スローガン】

＜鉄骨工事をご発注いただく、全てのお客様へ＞

鉄骨業界は、すでに働き方改革を実施しています。

「工場はすでに土日閉所です。」

・月曜日朝(までに)の納期指定にお応えすることはできません。

それを考慮した工程の計画をお願いします。

「金額だけが契約条件、取引条件ではありません。」

・契約条件には工期、工程も要素に含みます。

したがって、工期が不透明な状態での予約はお受けできません。

・施工図承認の遅れにより発生する負担(コスト・納期)を我々は受けられません。

施工図承認の遅れは工場生産の停止に繋がり、大きな損失となります。

ご理解ご協力よろしくをお願いします。

「契約範囲を超える要求には、お受けすることはできません」

・契約を超えるサービスを行うことはできません。

・急な追加工事(現場溶接)の対応はできません。

【発信方法】

・業界新聞(会長インタビューも載せる)

・協会の広告も掲載(案/各県組合にも募る)

・一般新聞、TVCM

・各支部からの展開(地方紙、地方メディア)全構協補助

・建設業界に向けても発信

※ポスター、チラシ作成は業者に依頼する

【陳情】

・関係省庁、議員

・各支部(各県組合)からの展開

(各県省庁、自治体、地方建設団体、関連団体、労基署)全構協補助

経済産業省

製造産業局〇〇〇

一般社団法人 全国鐵構工業協会

会長 永井毅

特定技能外国人制度における分野追加に関する要望書（案）

国内の鉄構（鉄骨）業界の従業者数は、2500社程度、その従業員数は、周辺関連分野を含め約6～7万人規模と推定されます。建設分野に係る業界であり、他分野等に比べ労働環境が厳しいとの認識を持たれていることから、長年にわたって新規の採用で必要な人材を確保できない状態が続いています。溶接ロボットの導入やデジタル技術を活用した省力化などの生産性向上の取組みを実施するとともに、女性向けの採用施策の実施等、国内人材確保にも積極的に取り組んでおりますが、なお必要な人材を十分に確保することが困難な状況です。

当業界の人材不足は、安心・安全な住環境の確保、社会インフラの整備等の面からみても、大きなリスク要因を生じさせる恐れがあることから、安定的な人材確保は、当業界のみならず、社会全体にとって喫緊かつ重要な課題であると認識しています。

そこで、国内人材を確保することが困難な状況にある産業分野において、一定の専門性・技能を有する外国人を受け入れることを目的とする特定技能外国人制度において、特定産業分野に「鉄骨製造業」を追加頂くことを強く要望致します。

以上

その他の定例報告事項

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和5年3月31日現在 (令和4年度増減数)		24	46	2,172
令和5年5月23日 第1回理事会	3月31日	(0)	(9)	2,172
令和5年6月16日 第2回理事会	6月9日	9	3	2,178
累 計		9	3	2,178

《グレード別内訳》
 S : 8 H : 287 M : 819 R : 577 J : 39 未 : 448 合計 : 2,178

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和5年6月9日現在

区分	登録・取消 承認	増 減								増減差	増 減 後 構 成 員 数
		登録 社数	取消社数								
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	その他	合 計		
平成18年度合計	49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739	
平成19年度合計	51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711	
平成20年度合計	49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652	
平成21年度合計	37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538	
平成22年度合計	23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395	
平成23年度合計	14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260	
平成24年度合計	20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200	
平成25年度合計	13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171	
平成26年度合計	26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158	
平成27年度合計	36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169	
平成28年度合計	36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172	
平成29年度合計	56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201	
平成30年度合計	34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208	
令和元年度合計	25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199	
令和2年度合計	32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197	
令和3年度合計	27	1	10	7	1	0	11	30	-3	2,194	
令和4年度合計	24	1	14	9	3	0	19	46	-22	2,172	
令和5年度	第2回 (6月9日)	9	0	2	1	0	0	3	6	2,178	
	第3回 (月日)										
	第4回 (月日)										
	第5回 (月日)										
	第6回 (月日)										
	第7回 (月日)										
	第8回 (月日)										
	年度末処理										
5年度計	9	0	2	1	0	0	0	3	6	2,178	
累 計	1,096	501	699	547	130	79	1,183	3,139	-2,043	2,178	

1. 転・廃業内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	転業 1社	転業 0社	転業 2社	転業 4社	転業 0社
	廃業 9社	廃業 12社	廃業 8社	廃業 10社	廃業 2社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
令和元年度	0	1	3	13	0	17	34
令和2年度	0	0	14	7	0	13	34
令和3年度	0	2	5	6	0	17	30
令和4年度	0	1	5	7	2	31	46
令和5年度	0	0	0	1	0	2	3

構成員登録社数・増減一覽表

(R5. 4. 1~R5. 6. 9)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回		
北海道	北海道	74	1		1	75		
	東	青森	36			0	36	
		岩手	32			0	32	
		宮城	40	1		1	41	
		秋田	23			0	23	
		山形	27			0	27	
		福島	61	1		1	62	
		関東	茨城	60			0	60
			栃木	49			0	49
			群馬	64			0	64
埼玉	52				0	52		
千葉	57				0	57		
東京	47				0	47		
神奈川	44				0	44		
新潟	85				0	85		
山梨	31				0	31		
長野	65				0	65		
北	富山	38	1		1	39		
	石川	33			0	33		
	福井	43			0	43		
	岐阜	73			0	73		
中部	静岡	92			0	92		
	愛知	127			0	127		
	三重	61			0	61		
合計		2,172	9	3	6	2,178		

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	31			0	31
	京都	47			0	47
	大阪	107	1		1	107
	兵庫	75			0	75
	奈良	36			0	36
	和歌山	35			0	35
	鳥取	15			0	15
中国	島根	23		1	-1	22
	岡山	33	2		2	35
	広島	80			0	80
	山口	38		1	-1	37
	徳島	25			0	25
四国	香川	44			0	44
	愛媛	41			0	41
	高知	22			0	22
	福岡	51			0	51
九州	佐賀	25			0	25
	長崎	18			0	18
	熊本	24	1		1	25
	大分	19	1		1	20
	宮崎	25			0	25
鹿児島	鹿児島	29			0	29
	沖縄	15			0	15
合計		2,172	9	3	6	2,178

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移
(国土交通省建築着工統計速報による)

2023年6月2日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019(令和元)年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
2020(令和2)年度計		114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700	90.1
2021(令和3)年度計		122,466	107.3	45,580	113.3	1,966	104.7	4,656,300	113.1
20(令和2年度)	4月	11,250	106.8	4,031	104.0	294	245.0	417,800	106.1
	5月	9,704	93.1	3,414	88.1	301	278.7	356,450	90.7
	6月	11,045	101.8	4,247	103.0	130	74.3	431,200	102.4
	7月	11,248	105.5	4,349	117.5	246	225.7	447,200	119.1
	8月	10,418	109.2	3,501	108.6	127	171.6	356,450	109.3
	9月	9,682	97.3	3,216	93.8	74	41.3	325,300	92.5
	10月	9,902	81.9	3,452	65.0	214	97.3	355,900	65.7
	11月	9,568	94.5	3,456	99.8	160	113.5	353,600	100.0
	12月	8,967	84.2	3,186	74.5	143	39.3	325,750	73.1
	1月	9,278	107.6	2,990	86.0	403	277.9	319,150	89.9
	2月	9,016	97.8	3,432	103.6	58	25.2	346,100	100.9
	3月	8,598	87.8	2,672	76.1	225	222.8	278,450	78.1
年度計		118,676	96.9	41,946	92.0	2,375	120.8	4,313,350	92.6
20(令和3年度)	4月	10,298	91.5	3,912	97.0	158	53.7	399,100	95.5
	5月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	6月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	7月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	8月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	9月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	10月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	11月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計		10,298	91.5	3,912	97.0	158	53.7	399,100

(単位) 面積 1,000m²
前年同期比 %

(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 m² × 100kg
鉄骨鉄筋造 m² × 50kg

2023(令和5)年度 主要会議日程表

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土																					
4	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31												
5	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6										
6	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6							
7	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6					
8	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
9	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
12	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		

2023.5.17 現在

↓ 夏期・年末年始休日
 ↓ 土日・祝日
 ↓ 振替休日
 ↓ 休日出勤

開催年月日	三役会	理事会	総会	全国理事委員会 専務局長会議	委員会	その他	備考
2023年(令和5年)	4月7日(金) 12:00			15:00 ※	16:30 懇親会		※全国事務局長会議
	5月16日(火) 9:00						12:00 全鉄評取締役会
	5月23日(火) 10:30	14:00 ※					※決算・事業報告・総会招集
	6月16日(金) 9:30	11:30	15:00		17:00 懇親会		14:00 全鉄評株主総会
	7月4日(火) 15:00						
	7月11日(火) 10:30	14:00			14:00 創立50周年記念式典		15:30 祝賀会
	7月12日(水)						
	8月24日(木) 14:00				11:00 技術審議会		
	8月25日(金)						
	9月12日(火) 14:00				15:00 賛助会員との懇親会		賛助会員との懇親会
	9月28日(木) 9:30	11:30					12:00 全鉄評取締役会
	10月18日(水) 14:30						
	11月7日(火) 14:00						※移動理事会
	11月17日(金) 10:30	14:00 ※					12:00 全鉄評取締役会
	12月14日(木)						
	12月15日(金) 14:00				18:00 事務局職員との懇親会		
2024年(令和6年)	1月19日(金) 9:30	12:00		15:00 ※	16:30 新年賀詞交歓会		※全国理事長会
	2月13日(火) 14:00						
	2月20日(火) 15:00						
	2月21日(水)	9:00			13:00 青年部会との意見交換会		16:00 青年部会との懇親会
	3月12日(火) 14:30						12:00 全鉄評取締役会
	3月19日(火) 10:30	14:00					

青年部会	総会・会長会議	2024(令和6)年度予定
2024年4月12日(金)	2023年5月13日(土) 大阪	三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30)
2024年5月14日(火)		三役会(14:30) 参考:全鉄評取締役会(12:00)
2024年5月21日(火)		三役会(10:30) 理事会(14:00)
2024年6月14日(金)		三役会(9:30) 理事会(11:30) 総会(15:00) 懇親会(17:00) 参考:全鉄評株主総会(14:00)

【理23-2-他4】

< 北海道支部 > 状況報告書

2023年(令和4年) 5月分

提出日 令和5年6月9日

(A)

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・9日(火) 三役会・役員会 ・16日(火) 例会	・19日(金) 鉄骨部会 総会・懇親会 ・25日(木) 第1回「三役会」
函館	・26日(金) 総会・懇親会	
室苦小樽	・23日(火) 支部役員会議事録送付	
旭川	・8日(月) 営業会議	
北見	・23日(火) 委員会(例会)	
帯広		
釧路		

(B)

支部	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ~ 9	2 ~ 5	1 ~ 5	90 ~ 110			○			
函館	4	4	1 ~ 3	50 ~ 100			○			
室苦小樽	5 ~ 8	1 ~ 2	1 ~ 2	75 ~ 100			○			
旭川	10	4 ~ 6	/	80 ~ 100			○			
北見	/	2 ~ 7	/	90 ~ 100		○				
帯広	2 ~ 7	1 ~ 5	1 ~ 3	100			○			
釧路	7	3 ~ 10	/	80		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積み・工場稼働率・見積りともに、各グレードを通じて前月とほぼ変わらない。相変わらず中小・新規物件の見積りが少ないとのコメントが多いほか、図面の決まりが悪く、工場製作などにシワ寄せが生じている。積算については、設計変更などの月間積算時間が過去に例がないほど多くなっている一方、新規案件の積算重量は低迷しており、1-5月累計は過去最低と言われるリーマンショック翌年(2009年)をさらに下回る水準となっている。 共同積算:1-5月 35,811t 平年比58% 前年比82%
函館	・稼働率、山積み等、他支部からの製作協力要請等もあり増加している。見積りについては少ないとの報告が多数だが、計画(概算)見積りが増えてきているとの声も一部である。価格については大きく変わりなし。
室苦小樽	・見積りは中小物件を含め少ない傾向にある。工場の稼働状況は、ブロックによっては依然として低いところもある。
旭川	・Mグレードの見通しについては、現在稼働率が80~100%程度で、夏か秋頃までの見通しはあるが、その先の見積りは少なく心配している。Hグレードは、来年の物件の話も出てきている。また指値が厳しい物件もあり、受注できないケースもある。
北見	・全体的に物件は少なめで、更に規模の小さいものが多く、忙しい割に加工量は少な目で推移している。
帯広	・現状、各社稼働率は順調だが、新規の見積りは低調で夏以降が不透明な状況。
釧路	・4月同様、各社工場稼働率も上がっており、秋くらいまでこの状況が継続しそうである。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2023 年（令和 5 年）5 月分

(A)

提出日 令和 5 年 5 月 31 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○5/12 積算業務担当者会議、5 月期役員会、令和 5 年度通常総会、日本製鉄㈱による講演会、懇親会	○5/16 東北鉄構工業連合会積算業務委員会 (仙台) ○5/18 令和 4 年度決算書類に対する監査 (盛岡・青森) ○5/25～26 NDI-UT レベル 1 実技講習 (多賀城)
岩手県	○5/10 県南支部会 ○5/18 令和 5 年度通常総会、青年部通常総会、優秀従業員表彰式、交流懇親会 ○5/24 盛岡支部会	
宮城県	○5/10 監査会、理事会 ○5/26 令和 5 年度通常総会	
秋田県	○5/30 通常総会・役員会・営業担当者会議	
山形県	○5/9 青年部役員会 ○5/16 三役会及び役員会、第 4 5 回通常総会、(仮)情報広場説明会 ○5/19 超音波探傷技術研究会役員会	
福島県	○5/10 白河支部総会 ○5/13 実践建築設計 3 次元 CAD 技術講習会 ○5/19 青年部総会 ○5/26 第 41 回通常総会	

(B)

都道府県	①手持ち工事量 (ヵ月)			②稼働率 (%)	③見積物件の傾向			④工場加工費 (千円)		
	H	M	R・J	稼働率 (%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	4～29	3～12	1～5	10 ～ 120		○				
岩手県	4～11	2～6	1～3	80 ～ 100			○			
宮城県	5～12	3～6	1～3	70 ～ 110			○			
秋田県	6～10	4～5	1～5	70 ～ 110			○			
山形県	3～12	1～12	1～6	90 ～ 120			○			
福島県	4～11	3～12	0.5～6	10 ～ 120			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	工場により、稼働率・工事量にばらつきがあったが、9 割以上が高稼働で推移。しかし、価格はほぼ変化ないまま、必要経費が上昇する中で、採算確保に苦慮する状況が続いている。この先の単価交渉の方法を、情報交換しながら各社模索中。
岩手県	工場稼働率、手持ち工事量、工場加工費いずれも先月と比べて横ばいで大きな変化なし。電力価格値上げの時期を迎え、メーカーによる鋼材価格動向にも注意しつつ、原価意識をしっかりと持った見積を行うことを支部会（営担会議）にて呼びかけている。
宮城県	先月から大きな変化は見られず小康状態が続く。一部の FAB はそれなりの工事量を確保するも M、R グレードでは厳しい状況が続いている。人材不足や電気料問題等も含め、先行きに関して不安感が増すばかりである。
秋田県	手持ち工事量、稼働率、価格に大きな変動はないが、物件数少なく、また規模も小さい物が多く見受けられる。今後の仕事量確保が心配される。
山形県	手持ち工事量、稼働率に大きな変化は見られない。鋼材はスクラップ単価下がったが、引続き単価を下げる傾向が無いので注視する必要がある。
福島県	地元 G C からの中小工事は見積件数・物件数共に低調が続いている様子。施主の予算が折り合わず延期や中止のケースも散見されます。消費費の値上げや時短による人件費負担増も現状の請負金額ではカバーしきれないかと思えます。

＜ 関東支部 ＞ 状 況 報 告 書

2023年(令和5年) 5月分

提出日 令和5年6月2日

(A)

都道府県	①全構協推進事業の現状	②支部活動状況
東京都	24日 理事会、通常総会、青年部会 27日 固形エンドタブ技能検定試験(綾瀬)	関東支部活動・行事等
千葉県	12日(金)北部支部会 19日(金)通常総会 30日(火)建設業協会総会懇親会 31日(水)全国Mグレード部会連絡協議会総会	5/16 第2回関東支部運営委員会 5/27 関東ブロック総会
神奈川県	12日 外国人人材に関する経産省視察対応、18日 事業運営委員会、25日 役員会、研修会、総会、賛助会員との交流会	5/30 第2回関東支部会
茨城県	17日 中央会専門委員会 19日 第36回通常総会	
埼玉県	17日(水) 固形エンドタブ技量付加試験説明会 22日(月) PAWG(フェイズドアレイ実証実験)講習会、同会議 24日(水) 固形エンドタブ技量付加試験 27日(土) 第47期通常総会 28日(日) STK会(組合親睦ゴルフ大会)	
栃木県	5/11 賛助会総会 5/19 工業会第11回通常総会	
群馬県	5/19三支部合同部会、5/24正副理事長会議・役員会・第39回通常総会、 5/27全青会関東ブロック総会	
長野県	10日青年部役員会、11日50周年実行委員会、13日・14日UT実技講習会、 17日技術委員会、26日総会・創立50周年記念式典	
山梨県	10日 理事会 12日 溶接JIS検定(堀之内訓練所) 13日 溶接JIS検定(一般) 23日 青年部会 25日 社員総会 26日 経営近代化委員会 29日 溶接安全委員会 30日 教育技術委員会	[教育関係] ・NDI-UT実技準備講習(認定職業訓練/18,19日) ・ガス溶接技能講習(18日,19日) ・若年人材育成事業 (17日鉄骨製図,18~19日ガス溶接技能講習,23日品質管理,24日金属材料機械的試験,ヒューム成分分析) ・高校生溶接競技大会参加者実技講習(27日)
新潟県	5/19,20 建築鉄骨製品検査技術者学科講習会 5/26 第40期通常総会	

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)
東京都	5~15	2~9	1~3	70~100		○				
千葉県	6~13	3~6	4.0	50~120	○					
神奈川県	7~13	2~9	3.0	80~100		○				
茨城県	6~12	4~6	2~4	80~100			○			
埼玉県	3~11	1~7	1~5	85.3		○				
栃木県	12~13	4~10	1~6	70~120		○				
群馬県	6~16	2~10	3~3.5	70~100		○				
長野県	8~14	3~7	3	80~120			○			
山梨県	6~12	1~13	2~3	80~100			○			
新潟県	10~14	4~6	3~4	80~100		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	鋼材等の価格、納期に大きな変化は見られないが、諸資材の一部が値上がりした。施主等の理解は得られても材料費、販管費の値上がり分の受注価格への反映は思わしくない。また、電気料金の値上げの影響も大きく、働き方改革、人手不足対応等もあって企業努力は限界で経営環境は極めて厳しい。見積り件数は減少傾向にあり、中・小・地場案件は少ない。
千葉県	新築の重量鉄骨が薄く感じるがそれに限らず見積りがやり切れず断る位来ているので今後も忙しくなる模様。毎月の事だが物価高と手間の高騰に歯止めを掛けていただきたい。業界全体で人員確保の取り組み強化、各種値上げにより経費圧迫の訴え。
神奈川県	鋼材価格、納期については前回と変わりません。5月に入ってから製作支援の話が多くなって来た様に感じます、各社山積みも金物を中心としているRグレードで3か月を下回るところが無いが、鉄骨中心のMグレードでは差が大きくなっており、2極化が窺えます。年度が変わり、延期になっていた入札案件の見積り依頼が増えています。
茨城県	・地場案件が出始めたが、数は少ない。単価は、鋼材費の値上がり分以外、価格転嫁出来ない。商社案件も同じでだが、来年以降は、大型案件が出るようなので、期待したい。
埼玉県	ここのところ後継者がいないということで、廃業するという組合員の話が出ている。人手不足の問題を早く解決しないと、技術の伝承と企業の存続が危ぶまれ、当県においては存亡の機に立たされている組合員がいる。
栃木県	・相変わらずの人材不足、特に若手の入職者が少ない。 ・設備の老朽化に苦慮している。 ・電気代高騰に加えて塗料も値上がりしている。 ・忙しくなっているのか、応援の依頼が多くなっている。
群馬県	図面をはじめゼネコンの物決めが遅い上、追加・変更もあり加工が予定通りに進められない。手持量は安定しているが、地元物件は少ない状況である。
長野県	・地場物件とんでもない安値受注しているファブが現れた。 ・先々まで仕事はありますが、個々の物件の建方時期遅れが出てきており、工程の調整に苦労しています。 ・工程が長期間であったり、大型物件で複数の工場で作成する工事が多く、工程管理や予算管理が難しく悩んでいます。
山梨県	新年度となり県内の公共物件は少し出てきましたが、民間頼りは否めない物件数である。 昨年塗料メーカーが相次いで値上げは実施済みであるが、5月22日に(N社)で値上げを表明、7月頃には(K社)で値上げを計画している。
新潟県	受注価格は若干の上昇がみられるが、鋼材の価格上昇分を十分に転嫁できず収益状況は厳しい。 関東圏の物件は堅調だが地元物件がなく、小規模工場では手持ち工事量に二極化が見られる。

＜北陸支部＞ 状況報告書

2023年（令和5年）5月分

(A)

提出日 令和5年6月8日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	9日(火) 第1回理事会 18日(木) 青年部会 監査・5月度役員会 25日(木) 第2回正副理事長会・第45回通常総会 30日(火) 建産連・常任理事会	11日(木) 全構協運営委員会(WEB) 13日(土) 全青会全国会長会議及び総会(大阪) 23日(火) 全構協第1回理事会(東京) 26日(金) 全青会北陸BC協議会総会
石川県	10日(水) 第1回金沢支部会 11日(木) 全青会北陸BC協議会会計監査 20日(土) JSCA定例会(金沢) 22日(月) 第2回三役会、第2回理事会 第52回通常総会、講演会、懇親会 23日(火) 建設災害防止協会総会 25日(木) 第1回青年部役員会	
福井県	18日 青年部会通常総会 19日 認定部会研修旅行(～21日) 30日 総会直前三役会・役員会・通常総会	

(B)

都道府県	① 手持工事量(ヶ月)			② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	10～18	3～5	1～3	70～100		○				
石川県	8～12	3～6	1～3	80～120		○				
福井県	6～12	2～6	1～2	80～120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	HグレードとMグレード以下では、山積み量に二極化が増々進んでいる。首都圏や大都市圏では大型物件の着工が相次いでおり、大手GCでは受注計画が上回り、依頼を断る会社も出始めていると聞いている。建設サイクルの短い中小物件が中心の地場GCは、鋼材やその他コストアップを理由に延期や中止になる物件が出てきているため、受注競争しておりファブへの指値は非常に厳しい。しかしながら電気代や運送費等が急騰しており安値受注をすれば経営にも影響が出てくるため、絶対に回避しなければならない。
石川県	上位グレードは1年先まで仕事量がある様子。Mグレード・Rグレードは企業間差がある様子。100t超えの案件は多くなってきたが200～300tクラスの案件はまだ少ない。鋼材は現状高止まり状態だが電気料金や副資材の値上げはまだまだ続く様子で、各社焦らず安値受注にならないように、組合員同士情報交換している。今後の課題はコストアップに伴う加工費への価格転嫁かと思われる。
福井県	<ul style="list-style-type: none"> ・各グレード各工場共、山積み、稼働率ともに前月と比較して大きな変化は見られない。 ・新年度の地元公共物件が出始めている。小規模のものが多いが出件が増えて適正価格で受注できるよう期待したい。 ・手薄な地元GCが中小物件に飛びついて安値落札する傾向が見られる。ファブとしては客先との関係も重要だが焦って安値受注に走らないよう十分注意すべき時である。 ・「2024年問題」については、すでに運送業界が厚労省を味方に世間一般社会に対するアピール(チラシ配布、新聞広告等)を始めている。当業界も遅れを取らず行動を開始すべき時期であると思われる。

＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2023年(令和5年) 5月分

(A)

提出日 2023年(令和5年) 6月 1日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等	
岐阜県	12日(金) 16日(火)	マスクフィットテスト講習会 第48回通常総会	1日(月) 11日(木) 16日(火) 23日(火) 24日(水)	製品・超音波学科講習会 講師打合せ 全構協:運営委員会 出席 全構協:三役会 出席 全構協:三役会・理事会 出席 全鉄評:評価員会 出席
静岡県	19日(金) 24日(水)	三役会 役員会、総会、50周年記念式典		
愛知県	9日(火) 16日(火) 16日(火) 18日(木) 23日(火) 24日(水) 25日(木)	女性部会 H部会 中央会:金融委員会 出席 第49回定時総会 青年部:役員会 静岡県50周年記念式典 出席 三重県50周年記念式典 出席		
三重県	9日(火) 16日(火) 17日(水) 25日(木)	第2回理事会開催 超音波探傷試験レベル1実技試験特訓講習会 第50回通常総会・創立50周年記念式典 講演会・祝賀会		

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3~8	3.5~4.5	4	100 ~ 120		○				
静岡県	8~12	2~8	1~2	70 ~ 120			○			
愛知県	10~12	3~8	2~4	80 ~ 110		○				
三重県	9~16	1~9	1~5	80 ~ 125		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・工場稼働率は100%を確保している。 ・見積り件数は増加傾向。
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、物件のスライド案件が多数出ているため、空白期間となった穴埋めに苦慮している。 ・地元案件の物件に関してはかなり安く取りにくる県外同業者が多く、大手メインで仕事を取っていく考えではあるが、北海道の事件から検査が必要以上に厳しく、加工コストが膨らんでしまっている。材料費の上昇もまだまだ不安材料である。 ・鋼材の価格転嫁は十分できるようになり、なおかつ加工単価も上昇。特に難易度の高い物件は言い値で受注できるようになった。 ・地場物件が薄い感じがする。また、6月加工の山積みが高いファブの声をよく聞く。 ・電気料金高騰に伴う酸素、アセチレン、炭素ガスが1割の値上がりになった。
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・来月から忙しくなってくるそうですが、図面や仕様の決まりが悪い物件が多く、建方日をずらさなくてはいけなくなり山積みの変動が出てきて、その結果、残業時間が増え悪い傾向になっています。 ・中小物件の引合いが少しずつ出てきましたが、まだ数が少ないためか競合しているのか価格は厳しい状況です。 ・電気代が昨年の倍近く上がっている。これから夏に向けて更に上がると思われる。 ・9月までは埋まってきており、9月以降の引き合いも増えてきました。 ・来年の引き合いが少ないですが、疑心暗鬼にならない様にファブ間で情報交換を積極的に取って行こうと思います。
三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・5月も一層、物件量が厳しく思います。他社応援と先行製作。前月と変わらず加工応援企業が増えてます。 ・大型案件の数が減ってきている感がある。100トンクラスで8・9月建て方、案件が出てきているようである。 ・予定工事の工期ずれが発生し工事量にむらがある。

＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2023年(令和5年5月分)

(A)

提出日 令和 5年6月7日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・5/17第52回 通常総会 ・5/25 打合せ	
京都府	・5/12 50周年記念事業準備委員会 ・5/22 性能評価スケジュール会議 (ZOOM) ・5/26 第50期通常総会 記念式典 祝賀会	
大阪府	・5/26 第50回 通常総会	
兵庫県	・5/26 第51回 通常総会	
奈良県	・5/ 9 三役会・理事会 ・5/19 通常総会・記念懇親会 ・5/23 フィットテスト説明会 ・5/26 青年部会通常総会	
和歌山県	・5/8 監事監査・理事会 ・5/22 第48回通常総会・懇親会	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	10 ~ 16	2 ~ 8	1 ~ 4	80 ~ 100		○				
京都府	3 ~ 12	~ 11	1 ~ 6	30 ~ 100			○			
大阪府	6 ~ 12	2 ~ 4	1 ~ 3	60 ~ 100			○			
兵庫県	8 ~ 15	4 ~ 8	1 ~ 4	70 ~ 100		○				
奈良県	~	4 ~ 8	2 ~ 3	70 ~ 100		○				
和歌山県	6 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 3	60 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	見積物件はやや少なめから事業所によってはやや多めに変化が見られる。来年度案件も動き出した様に感じる。鋼材価格は一段落し安定感があるものの夏～秋に向かい一段階値上げの覚悟は必要か。地域によっては6月～電力値上げの様相。その他の消耗品などは一段落し高値安定とみている。ただ現行報告の平均加工費では利益の圧迫は避けられず、原価に含まれる販管費や消耗品費の類の値上げ交渉+5~10/kgは急務と考える。特に関西圏では万博案件価格交渉を期に価格改定のきっかけにすべきではないだろうか。
京都府	現在秋口迄は受注しているが見積物件が少ない。夏以降の施工物件の話は出てきている。材料単価は高止まり傾向にある様だが、副資材・電気料金などの費用が高騰してくるとこれからが厳しいことになると思われる。先行き物件の話はよく聞かぬが決まるか不安。来春の物件について引合いが来ている。年内は店舗鉄骨が堅調です。先月より状況は変わらず、9月以降の物件の動きが少ない。厳しい状況になりそう。
大阪府	株価が上がり、物価の上昇が続き、インフレ状態に突入か。支払金額が上がり続け、請負金額が物価上昇幅に未だ追いついていない。受注見通しとしては、受注量の格差が、ここに来て大きくなっている。来年の仕事量が心配だ。Mグレードでは10月以降の引き合いが増加してきている。H鋼のエキストラが新しくなったら、かなりの値上げとなってしまう。Rグレードは先月の状況と変わりはない。
兵庫県	鋼材は前月に引き続き据え置きとの事で大きく変動はないかと思えます。直近の仕事量はHグレードでも半年先の山積み薄いファブもあり、全体的に来年前半に掛けて少し仕事量が端境期で都市部再開発、物流倉庫等の大型案件に関わっているファブは忙しく2極化状態で、価格(加工費)についても電力やガス料金・賃上げの高騰を製造費コストアップしきれていない状況で少し時間がかかりそうです。2024年物流問題の運送規制による時間外労働の対応等も含め今までクリアしてきた事が出来なくなり、経営を圧迫してくる可能性もあるので対応策にも余念がないかと思えます。
奈良県	・鋼材以外の経費(電気・塗装他)値上げ分を今後、反映出来るようにしたいと考えています。 ・ゼネコン→ファブの流れが少なく、ゼネコン→商社→ファブの流れが増えているように思われます。 ・図面のチェックバックが遅れても納期が縮まらず、なかなか図面が決まらない状況が続いています。
和歌山県	見積物件は、相変わらず少なめですが、鋼材は、高値で安定してきたせいか、先物件の概算見積が、たまに出てきています。この秋以降の物件が増えてくるように思います。しかし物価高騰の勢いは、止まっていますので、余裕を持った加工費、消費費を入れていかないとならないと思います。もう少し中小物件が、増えることを期待したいです。

＜ 中国支部 ＞ 状況報告書

2023年(令和5年)5月分

(A) 提出日 2023年(令和5年) 6月7日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況		
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等		
鳥取県	8日(月) 9日(火) 26日(金) 29日(月) 31日(水)	理事役員会 東部支部例会 第31回通常総会・青年部会総会 組合員・青年部会・準会員・賛助会員 合同懇親会 溶接競技会 協議最終審査 技能士会連合会 理事会・第39回通常総会	10日 11日 23日	全構協:人材育成委員会(zoom) 全構協:運営員会(東京) 全構協:第1回理事会(東京)	
島根県	20日(土)	青年部会 役員会、通常総会(益田市)			
岡山県	11日(木) 13日(土) 18日(木) 26日(金) 30日(火) 31日(水)	厚生労働大臣加藤勝信氏と当会顧問に関する事項協議 全青会全国大会(大阪市) 青年部会総会(岡山市) 第52回通常総会(岡山市) 岡山県建築士会総会(岡山市) 岡山県建築士事務所協会総会(岡山市)			
広島県	23日(火) 25日(木) 31日(水)	県中小企業団体中央会 理事会 組合通常総会、創立50周年記念式典 令和5年度前期工場審査 勉強会			
山口県	13日(土) 15日(月) 15日(月) 27日(土)	全青会 通常総会・会長会議 第49回通常総会・表彰式・懇親会 青年部会 第29回通常総会 山口県建築士会定時総会			

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	4 ~ 14	3 ~ 6	1 ~ 3	85 ~ 150			○			
島根県	6 ~ 7	4 ~ 6	1 ~ 5	60 ~ 100		○				
岡山県	12 ~ 18	5 ~ 6	2 ~ 3	90 ~ 100			○			
広島県	13 ~ 22	2 ~ 7	1 ~ 3	70 ~ 100			○			
山口県	4 ~ 9	1 ~ 4	2 ~ 3	70 ~ 120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	県内の新築鉄骨工事件の計画の話は聞か、量的には小中程度の設計案件・4~5月に掛けて見積としては少ない状況が続いている。また物価高で人件費・電気料金・副資材等の高止まりなどを考慮した見積り交渉力の必要性が、高まってきている。健全経営を目指して、安易な指値受注を避けるよう組合員の団結力・協力を求める時期に来ている。H・Mグレード各社の残工事のバラツキ格差がある中で、施工図チェックバック延滞など工期納品延期はなく、残業時間が増えて依然として予定物件の延期など生産工程・生産効率向上の調整が難しくなっている。
島根県	Hグレードは、年内の仕事量は確保出来ており、来春の物件についても引合い・見積りが来ています。Mグレードにおいても、ほぼ年内の仕事量は確保出来ましたが、今後の引合い・見積りについては、多少企業格差がある模様です。Rグレード以下の下位グレードにおいては、現状では仕事量は確保出来ているものの、全般的に見積物件数は少なく、先行きは不透明な状況です。
岡山県	地方の鉄骨需要は低い状態で推移しており、地方を主戦場とするMグレード以下の規模のファブにとっては厳しい年度となっている。実際専門の鉄工所では採算が合わず、工務店や土建業の一部として工場を持つ形態へと移行し、状況に対応しているファブも多数ある。今後働き方改革と相まって再び鉄工所の淘汰が始まるのではないかと不安である。
広島県	今月は、稼働率100%以上の回答企業が70%、ほぼ90%以上の稼働となっており、高い稼働率は継続している。手持工事量では、Hグレードは1年超、Mグレードもほぼ5か月以上を確保する一方、Rグレードを中心に3か月以下が全体の40%を占める状況となっており、グレード間格差は拡大気味で、下位グレードの手持ち工事量の少なさが懸念される。見積りについては、「少ない」が65%で、「多い」は皆無。回復の兆しはなく低調気味。鋼材価格は高止まりのまま、副資材、電気、輸送費など多くの製造原価が上昇を続け、各社とも原価見直しと見積りへの反映に注力するが、価格転嫁が追いつかず、利益を圧迫する状況が続いている。また、大型物件を中心に鉄骨需要の回復・増加が続く中、地域の中小物件の回復が遅れ、Rグレード以下は、応援物件で凌ぐものの、厳しさを増している。
山口県	Hグレードでは、先月同様に納期に追われて稼働率・コストともに高い状態が続いており、次の加工に入ることが出来ず、今後も納期が圧迫しそうな状況となっている。見積り数は若干減っており、来年の春以降から物件が減ってくるような情報も出ている。M・Rグレードでは各社忙しい様子だが、小規模工事、改修や補強等の現場鉄工、他社応援が多い。受注物件の契約工期に遅れが目立ち、加工調整が難しくなっている。また、受注の際に元請けからの値引き幅が大きいとの声もある。見積り数は少しずつ増えてきた様子だが、予算見積りも多く実際に仕事を確保できるかは不透明。鋼材の値上げ発表により今月の鋼材費に影響が出ている中、6月値上げの品目も幾らか有り、請負単価の引き上げを早急に交渉しなければならないと考える。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2023年(令和5年)5月分

提出日 令和5年6月6日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	13日(土)ゴルフコンペ 17日(水)情報交換会 26日(金)通常総会 8・9・10・15・16・17・19・29・31日UT1, 2実技講習会	
香川県	8日(月)2022年度決算監査 8日(月)後期工場審査サポート 9日(火)新規組合員加入契約 24日(水)通常総会	
愛媛県	27日(土)通常総会	
高知県	2日(火)理事会 12日(金)懇親ゴルフコンペ 19日(金)ウェルディングフェスタ 25日(木)通常総会	

都道府県	①受注物件件数(ヵ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	5 ~ 8	~ 2	1 ~ 2	80 ~ 120			○			
香川県	4 ~ 8	3 ~ 6	~	90 ~ 120			○			
愛媛県	7 ~ 13	2 ~ 5	1 ~ 4	90 ~ 120			○			
高知県	5 ~	2 ~ 6	1 ~ 2	80 ~ 120			○			

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	手持ち工事量はHグレードで6~8ヵ月、それ以外では3~4ヵ月程度。 県外物件に単価上昇の気配が見られるものの、見積もり件数は少なく、来年度の厳しい状況が予測される。 梅雨に入り、気温、湿度ともに高くなってきたので、熱中症等、社員の健康に配慮しつつ、生産性をいかに維持していくかがこれからの課題。
香川県	県内見積もりは、依然として少ない状況が続いているが、手持ち工事量はFAB間の格差はあるものの稼働率は90%~115%の数値で推移している。しかし、今後の見通しは不透明なところがある。公共工事発注も少ない時期であり夏場へ向けて多少は案件も出てくると思うが、全体量としては少ないようである。
愛媛県	各クラスともに受注量を確保しているが効率的な生産体制で収益を得る上ではHクラスなら四国内で2,000tクラスの物件を、県内地場物件が多いRグレードでは100tクラスの物件を手掛けたいのが本当の所であるが、四国内では今500~クラスの物件を、県内地場では改築等を含む数トン~数十トンクラスの物件を手掛けているのが現状であり、工場規模に応じた収益を得るまでにはなっていない。
高知県	見積りは小口物件はそこそこあるが全体的に少ない、大型物件が出て欲しい。稼働率は徐々に下がり気味。価格は鋼材価格の値上がりに対するある程度転嫁できているが十分な額ではない。

＜九州支部＞ 状況報告書

2023年度(令和5年度) 5月分

(A)

提出日 令和 5年 6月 2日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・5/8 経済産業省へ要望書の提出 ・5/16 青年部役員会(WEB) ・5/19 JSCA九州支部通常総会記念講演、懇親会へ出席 ・5/24 第46回通常総会、懇親会	5/10 第1回支部理事会(Web)
佐賀県	5/15 中小企業団体中央会 総会出席 5/18 建設業協会 総会出席 5/19 第2回理事会・第48回通常総会 5/26 審査サポート	5/12 第2回九州支部事務局Web会議
長崎県	5/2 長崎県建築鉄骨研究会監査、5/24 長崎県溶接協会 第1回理事会・通常 総会出席、5/25 長崎県建設業協会通常総会懇親会出席、5/30 第2回理事 会、通常総会	5/22 全構協九州支部H部会 会計監査 " 役員会
熊本県	5/17 (有)宮田工業入会に伴う工場訪問 5/18 理事会・定例会・総会・懇親会 5/25 認定サポート部会	
大分県	5/2BCP「連携事業継続力強化計画認定申請書」を事務局がアドバイザー(WE B)で聞いて作成・申請完了。5/15、5/17超音波探傷操作指導 5/16青年部会 議、青年部総会、親会総会、賛助会との懇親会	
宮崎県	5/23 通常総会開催・青年部会通常総会・懇親会 5/26 自由研削砥石の取替 ～特別教育開催 5/29中央会総会・懇親会出席	
鹿児島県	5/19通常総会・青年部会総会	
沖縄県	・5/2:理事会、18日:北那覇法人会総会、19日:令和5年度通常総会・懇親会、 23日:建設業Safe-Work運動総括会議、26:青年部会総会・懇親会、	

(B)

都道府県	①手持工事量(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J		稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)
福岡県	5 ~ 12	3 ~ 6	1 ~ 2	80~100			○			
佐賀県	6	2 ~ 7	1 ~ 4	80~100		○				
長崎県	6 ~ 14	4 ~ 10	—	70~100		○				
熊本県	5 ~ 8	3 ~ 7	2	93.2		○				
大分県	7 ~ 12	4 ~ 6	—	95~100		○				
宮崎県	6 ~ 12	2 ~ 4	0.7 ~ 10	30 ~ 100			○			
鹿児島県	6~12	2~8	1~2	50~100			○			
沖縄県	1 ~ 2	1 ~ 2	1 ~ 2	60~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・ 大型物件等の仕事量はあるものの、図面承認の遅れによる影響が課題
佐賀県	・ 深刻な人手不足に直面している上に労働時間の制約など厳しい環境があり、今後の景気動向に影響していくと思われる。
長崎県	・ 見積り件数が増加傾向。鋼材価格は上り傾向。 ・ 大型物件の見積りや引合物件が出てきた。組合間のたたき合いや、取り合いがないようにしていく。 ・ 各社の山積みが高くなってきた。
熊本県	商社の動きが顕著になっている。見積物件が増えて来た。公共工事が少ない。 図面の承認が遅いので、予定より作図工程が遅くなり工場の工程がうまく流れない。現場労務の手配が難しくなっている。
大分県	◎グレートを問わず山積みは高くなってきた。見積も計画(概算見積)を含め増えてきた。図面承認遅延による製作工程変更や鋼材・ 副資材の高騰による価格転嫁が課題。◎GCが鉄骨をわかっていないので教育してほしい。
宮崎県	鋼材をはじめ人件費等、全ての項目で費用が上がっていて、加工単価が圧縮されている状況。 一部の地域に仕事が集中していて、会員間のバラツキが目立ってきた。
鹿児島県	物件が見えていても工期が定まらなかったり、材料費等の値上げが響いて思うように受注出来ない状況。また、コスト上昇による 工事費の増額が発注中止や保留の要因にも。物価高騰の中溶接ヒューム対策等出費は増えるばかりです。
沖縄県	・ 工事引き合い物件が少し増えてきたが即受注に繋がらない。図面承認の遅れが工場稼働率に影響している。

【理 追加資料】

2023年6月16日

一般社団法人全国鐵構工業協会
会長 永井毅様

株式会社全国鉄骨評価機構
代表取締役社長 高野昭市

鉄骨製作工場で行う評価員研修の協力依頼

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、性能評価事業
に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は、性能評価機関として本年3月に国交省指定を更新し、評価員について
も世代交代を図った新体制となりました。弊社では、この機会に評価員を対象とする
研修会を行い、鉄骨製作に関する最新技術や鉄骨工事の実務などの知見を深めて、
評価業務の充実化を図りたいと考えております。

本研修は、下記要領で行う計画をしております。

つきましては、本研修の主旨についてご理解を頂き、貴協会傘下の鉄骨製作工場のご
協力が得られるよう、貴協会支部長様からもお力添えを下さりますようお願い申し
上げます。

敬具

記

- 開催場所
10地区（関東は南北の2地区）の鉄骨製作工場
- 参加者
10地区ごとの評価員
- 実施時期
本年11月、来年5月、来年11月のいずれか
- 研修内容（検討中）
 - 工場審査のチェック内容確認
 - 入熱パス間温度管理の評価方法確認
 - 先端技術の見学（BIM、MR、フェーズドアレイなど）
 - その他
- スケジュール（モデル案）

13:30 最寄り駅集合
14:00 概要説明（会議室；①）
14:30～16:00 工場内研修（②③④）
16:00～17:00 意見交換（会議室）
- 鉄骨製作工場にお願いすること
 - 会議室の借用
 - 工場内の見学立ち合い（安全対策装備）
 - 最新技術などの紹介
(研修対応経費として、一律10万円お支払いします。)

以上